

本日の毎日新聞「伊賀版」に流域委員会委員のひとりでいらっしゃる河川工学専門の今本博健京大名誉教授が基調講演を行い森林保全の重要性を訴えられる「伊賀の森づくりフェスタ」が10月26日にとりくまれるとの報道がありました。

この伊賀地方は、今、川上ダム建設をめぐる議論がされています。淀川水系流域委員会が10月29日に意見書を発表され、国土交通省近畿地方整備局へ提出されることになっています。自然環境を著しく悪くするダム建設を中止して「森林の役割を考える」このことを国民的哲学にしていくことが21世紀大変重要だと思います。淀川水系流域委員会のみなさま、どうかよろしくご議論をお願いし、意見書をまとめられますよう、祈念しています。

毎日

# 森林の役割を考える

2003.10.17

## 伊賀の森づくりフェスタ

26日 大 山 田

安全や環境などの視点で森林の役割について考える。「伊賀の森づくりフェスタ」がおおやまだ」が26日、大田村で開催される。

午前は同村平田の村農村環境改善センターで、同村環境改善センターで、健康な木を育てよう、森林保全の重要性を講じる基調講演がある。今本名、伊賀の森づくりフェスタ実行委員会、森の役割を考えるシンポジウム、

シウムを開催。午後には会場を同村上阿波の大山田温泉さるびのに移し、自然観察会やヤマザクラ、イロハモミジなどの記念植樹がある。

昭和28(1953)年8月、上野市や島ヶ原村で発生し、20人の命を奪った山津波と言われる、集中豪雨による土砂災害から今年で50年。この節目に、多くの人に森林保全の大切さを知ってもらおうと、学識経験者やN

PO関係者で作る21世紀伊賀環境委員会などが企画した。参加無料。問い合わせ

は伊賀県民局生活環境部 森林環境創造チーム(05065・24・8143)。【小畑大介】

私たちは

# 川上ダムはいりません

国土交通省が主張する

川上ダム建設「4つの目的」

## 1. 洪水調節

- 「川上ダム案は、補償がおおむね解決しているのに、早期に岩倉峡上流上野地区の浸水被害を解消するのに有効な案です」

## 2. 河川の流水の正常な機能の維持

## 3. 新規利水

- 「利水につて、水需要の精査確認は、今後、調査・検討しなければならない事項」

## 4. 発電

伊賀の

水と緑を考える会 はこう考えます

## 上野地区の浸水被害解消に有効？

- 昭和28年の上野地区の洪水は、戦後の特殊事情の中で起きました。
- 川上ダムで調節できる雨量は、全体の一割にすぎません。

### 自然の命を奪います

- ダムができると、魚や水生昆虫の命を奪う泥水が発生します。
- 環境調査は、金も人も、ダムを発注・受注する側から提供された「ダム水源地環境整備センター」が行いました。

## いいかげんな水需要予測

- いまごろ「調査・検討しなければならない」と言っています。
- 水道事業の6市町村（名張を除く）水需要予測人口は12万人。合併協議会の予測人口は 9万人。と、ちぐはぐです。
- 水の必要な地域は、ダム以外の方法で対応できます。

付け足しです

# このままダム建設を進めたら

全国の困ったこと。川上ダムでもおこります。

**水道の水がまずくなり、料金が上がります。**

- ◇六市町村の水は、川上ダム下流の上野市で河川より取水し、ダムのある青山町へも「塩素と奇性ソーダ」で「浄化」された水が、加圧ポンプにより送水されます。
- ◇各市町村の水道料金が値上がりし、上野市では、県企業庁が水の値段を一円四百十一円と決めているので、水道料金は約五倍になります。

**住民の負担が増えます。**

- ◇当初川上ダムから取水する計画の西宮市が、水を買わないことを決めたことにより、六市町村の負担が増えます。
- ◇徳山ダムでは、一十億円以上の事業費の追加負担が発生し、問題になっています。

**災害がおこります**

- ◇地質の影響で、奈良県の大滝ダムでは、ダムの試験貯水により周辺家屋に多数の亀裂が発生し、住民が仮移転する騒ぎになりました。
- ◇現在進められている川上ダム周辺の道路付け替え工事では、いくら掘っても土砂ばかりです。ダムができるとダム湖より一m下・三百m離れた場所にも桐ヶ丘団地があり不安です。
- ◇川上ダム本体予定地の真下に活断層があるのに、その影響は明らかにされていません。
- ◇北海道の二風谷ダム下流の人口五千人の町では、今年の台風十号でダムに堆積した流木が一気に流れ落ち、百億円にもぼる被害を出しました。

**自然環境が壊されます**

- ◇多気町の運ダム下流では、ダムの影響で鮎がいなくなりました。
- ◇富士山の黒部川ダムでは、排砂により漁業被害が起こっています。
- ◇川上ダム予定区域の川では、オオサンショウウオなどが生存できなくなると共に、取り返しのつかない生態系の破壊が進みます。

## 「川上ダム」はこういう理由で計画されました・・・

### 川上ダムが計画されたわけ

流域の洪水の低減を図り、併せて水需要の増加に対応するために川上ダム建設を計画しました。これは国の水資源の政策としてダム建設で恩恵を受ける三重県・奈良県・京都府・大阪府及び西宮市に、それぞれに経費を負担してもらうことを約束したうえで建設するものです。(昭和56年度～平成16年度に完成予定)

三重県がこの川上ダムの建設に参加した理由には以下のようなことがありました。

ダム計画高水流量1,100m<sup>3</sup>/sの内950m<sup>3</sup>/sを調節し、前深瀬川、木津川及び淀川流域の洪水の低減ができる。  
(これは、毎秒1,100トンの水が流れてきても、950トンはダムで止めることができます。)

過去において深刻な水不足があったため、かんがい用水や水道用水について安定して水を確保することができる。

大阪、京都、神戸等の大都市を有する淀川流域の水需要の増加が予測されたため。  
(新たな水道用水13,200,000m<sup>3</sup>～13,700,000m<sup>3</sup>の水を貯める。)

参考	三重県がもらう水の権利 (一日最大給水量)	全体建設費850億円
	上野市 32,800m <sup>3</sup>	三重県が負担する建設費負担金(国の補助金を除く) 122億円
	伊賀町 6,000m <sup>3</sup>	治水53億円(ダム工事期間中負担しています。)
	阿山町 4,100m <sup>3</sup>	利水67億円(ダム完成後23年間で返します。)
	青山町 4,000m <sup>3</sup>	発電 2億円(ダム工事期間中負担しています。)
	島ヶ原村 1,000m <sup>3</sup>	
	大山田村 600m <sup>3</sup>	
	合計 48,500m <sup>3</sup>	

### 川上ダムをとりまく課題(工事着工以後の状況変化)

- ・水没地域等が公団混雑地域であり、用地買収に時間を要しています。
- ・景気の悪化やリサイクル利用の向上などにより水の需要が鈍化しています。
- ・ダム建設に要する公共事業費の予算が非常に少なくなっています。
- ・工事期間が大幅に延伸される見込みです。

三重県地域振興部のホームページより

# 淀川水系流域委員会

## への意見書

淀川水系流域委員会は、今年一月十七日に「計画・工事のものも含めて、ダムは原則として建設しない」との提言をしました。

しかし、その後上野市長は「下流の災害対策で川上ダムは必要」との発言を繰り返しています。

このような中、伊賀の水と緑を考える会は九月五日に開かれた淀川水系流域委員会へ、国土交通省の「川上ダムの計画について」に対する意見書（浅野隆彦原案）を提出しました。概要を紹介いたします。

### 不十分な後始末が まねいた浸水被害

上野市北西部は昭和二十八年九月二十五日、台風十三号による過去最大と思われる浸水被害に見舞われました。

この原因は何だったのでしょうか。

五十一年前、戦災復興の詔音が大きく響き、山々の木はほとんど切り倒されました。

その様な伊賀地方を襲ったのが猛烈な集中豪雨でした。

流れてきた構桁や木材が積み重なり、この堤上げが鍍金の辻で約1mの浸水となったのです。

この豪雨の中で、岩倉峽を埋めた流木は引き上げられたものの、巨首は撤去されず残っていました。

上野市内で流出した百四ヶ所の橋は急ごしらえで木道の仮橋として復旧されました。

この四十日後、台風十三号の来襲により、仮橋は次々と崩壊し百四ヶ所全てが流出しました。

岩倉峽は流木や土石、砂などが押し寄せ完全な埋止状態となり、堤屋の辻は二、五二三の浸水被害を受けました。

雨量は八月十五日より少なかったのに、集中豪雨の不十分な後始末が被害を大きくしてしまっただけです。「岩倉峽が狭いから」だけで起きたものではありません。

### 岩倉峽の疎水量

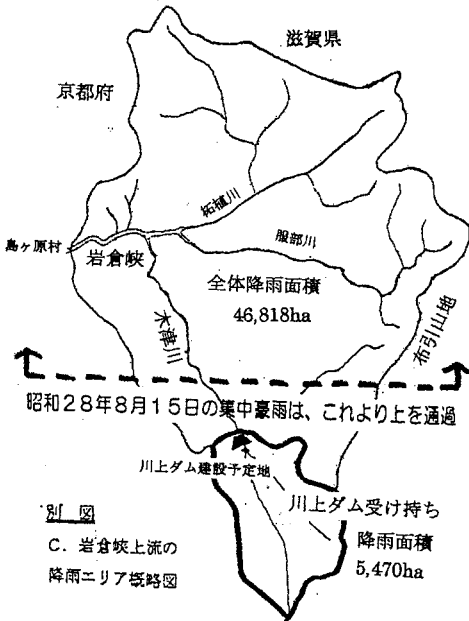
鳥ヶ原地区測定実績によれば、岩倉峽は二千九百立方メートルの疎水量があります。

当時の台風十三号による氾濫を基準とするならば、現在実施進行中の上野遊水池が完成すれば、流出するおそれのないコンクリート橋となっている現在では、この遊水池のみで他への浸水被害をくい止めることができません。

ができる計算になります。

### 川上ダムは無効

ダム予定地の降雨エリアは、岩倉峽までの全降雨エリアの十分の一に過ぎません。



### "万が一の事態には"

大雨で岩倉峽が詰まったときには開けば良い **バイパストネル案**

鳥ヶ原村 岩倉峽 岩倉大橋 服部川 木津川 自家発電所

バイパストネル

・総延長 3,100m	・断面 円形内径10m	・容積 243,350 m <sup>3</sup>
・入口底部標高 124.0m	・出口底部標高 104.0m	・水頭差 20m
・流速が5m/s～6m/sになるよう加速ポンプを設置。非常用自家発電機設備		
・地権者 2～3名	・総事業費 40億円	・工期 3年ぐらゐ

"それでも心配の場合"の案もあります。詳細な「意見書」や資料を用意しています。ご希望の方は1部200円（送料とも）で郵送します。お問い合わせ下さい。

また、みなさん方のご提案も歓迎します。

## 伊賀の水と緑を考える会 への 入会のおさそい

- ◇入会金 千円。
- ◇郵便振替 000000・5・440000
- 水と緑を考えた会
- \*資料の提供は、カンパの届かぬ限りお断りします。

連絡先 Tel 0595-43-0629 森本博

限りある資源であるからこそ 分かち合おうよ  
水も 空気も 食べ物も  
そして わかり合おうよ 川の流れや 海の広さ 山の深さを 木のこころを  
今 何が求められているのか 行政は今 何をすべきなのか  
上意下達の形だけは 止めねばならない  
森は 森みずからが 凛として在るものを  
とうとうと 川上の森が 語りつづけている  
静かに 静かに 語りつづけている  
あなたに そして わたしに

浜田不二子



国土交通省宛と、淀川水系流域委員会宛の両方にご署名をお願いします。ご協力いただいた方は、おそれいりますが、伊賀の水と緑を考える会 までご郵送をお願いします。

国土交通省近畿地方整備局 局長殿  
私たちに、川上ダムはいりません。  
川上ダムの建設を即刻中止するよう求めます。

取り扱い団体  
伊賀の水と緑を考える会

氏名	住所

淀川水系流域委員会 御中  
私たちに、川上ダムはいりません。  
川上ダムの建設を即刻中止するよう求めます。

取り扱い団体  
伊賀の水と緑を考える会

氏名	住所